

学科目標と授業時間数一覧

年度	学科名	学年	担任名					
令和 6年度	美容総合学科	2年	濱田 孝映					
学科概略	高度な知識と即戦力となる技術を習得し、美容業界に貢献できる高い意識をもった人材を養成する学科である。国家資格である美容師免許取得はもとより、社会人としての人間力や常識を備えた次世代を担う技術者を養成する。 コース選択制導入を最大限活かし多角的に美容業界で活躍できる人材を育てる。							
到達目標	・挨拶、返事など基本的行動の徹底 ・美容の基礎技術を身に付け・理論を十分理解し美容師国家試験対策に対応できる学力をつける ・自からが考え、行動し、自立する ・各種検定・コンペティション入賞							
目標へ対しての具体的取組	1)学外実習を行い、接客マナー、ビジネスマインドをはじめ、社会に通用する基本的マナーを身につける。 2)美容師としての基礎的な技術や、理論をその度チェックや補講を行い理解、習得していく。 3)感性、創造性を培うために外部へのイベントに積極的に参加し、「本物」の情報収集、提供をしていく。							
授 業 時 間 数 及 び 区 分								
科目名	担当教員	授業時間数		年間授業時間数	授業区分①	授業区分②	授業方法	
		前期	後期					
1 関係法規・制度	宮上 知史	非常勤	10	0	10	必修	専門	講義
2 衛生管理	中村 光良	常勤	25	18	43	必修	専門	講義
3 保健	濱田 孝映	常勤	28	14	42	必修	専門	講義
4 化粧品化学	久川 理香	常勤	11	14	25	必修	専門	講義
5 美容技術理論	中村・濱田・久川	常勤	38	28	66	必修	専門	講義
6 美容実習	中村・濱田・久川	常勤	133	391	524	必修	専門	実習
7 運営管理	宮上 知史	非常勤	3	7	10	必修	専門	講義
8 文化論	山崎 紀代	非常勤	22	0	22	必修	専門	講義
9 接遇	西村 侑剛	非常勤	17	20	37	選択必修	一般	演習
10 一般教養	福重・吉井	常勤	0	4	4	選択必修	一般	演習
11 色彩学	山崎 道	非常勤	0	7	7	選択必修	専門	実習
12 メイク・ベーシック	山崎 紀代	非常勤	0	7	7	選択必修	専門	実習
13 ヘッドスパ	濱田 孝映	常勤	32	36	68	選択必修	専門	実習
14 アイラッシュ	光富 千尋	非常勤	33	0	33	選択必修	専門	実習
15 美容総合技術	中村・濱田・久川・山崎・前田	常勤	108	82	190	選択必修	専門	実習
16								
17								
18								
19								
20								
合計時間数			460	628	1088			

学科目標と授業時間数一覧

年度		学科名		学年	担任名				
令和 6年度		美容総合学科スタイリストコース		2年	濱田 孝映				
学科概略	高度な知識と即戦力となる技術を習得し、美容業界に貢献できる高い意識をもった人材を養成する学科である。国家資格である美容師免許取得はもとより、社会人としての人間力や常識を備えた次世代を担う技術者を養成する。								
	コース選択制導入を最大限活かし多角的に美容業界で活躍できる人材を育てる。								
到達目標	・挨拶、返事など基本的行動の徹底								
	・美容の基礎技術を身に付け・理論を十分理解し美容師国家試験対策に対応できる学力をつける								
	・自からが考え、行動し、自立する								
	・各種コンペティション入賞(ビューティーグランプリ・フォトコンテストなど)								
目標へ対しての具体的取組	1)学外実習を行い、接客マナー、ビジネスマインドをはじめ、社会に通用する基本的マナーを身につける。								
	2)美容師としての基礎的な技術や、理論をその度チェックや補講を行い理解、習得していく。								
	3)感性、創造性を培うために外部へのイベントに積極的に参加し、「本物」の情報収集、提供をしていく。								
授 業 時 間 数 及 び 区 分									
科目名		担当教員		授業時間数		年間授業時間数	授業区分①	授業区分②	授業方法
				前期	後期				
1	関係法規・制度	宮上 知史	非常勤	10	0	10	必修	専門	講義
2	衛生管理	中村 光良	常勤	25	18	43	必修	専門	講義
3	保健	濱田 孝映	常勤	28	14	42	必修	専門	講義
4	化粧品化学	久川 理香	常勤	11	14	25	必修	専門	講義
5	美容技術理論	中村・濱田・久川	常勤	38	28	66	必修	専門	講義
6	美容実習	中村・濱田・久川	常勤	133	391	524	必修	専門	実習
7	運営管理	宮上 知史	非常勤	3	7	10	必修	専門	講義
8	文化論	山崎 紀代	非常勤	22	0	22	必修	専門	講義
9	接遇	西村 侑剛	非常勤	17	20	37	選択必修	一般	演習
10	一般教養	福重・吉井	常勤	0	4	4	選択必修	一般	演習
11	色彩学	山崎 道	非常勤	0	7	7	選択必修	専門	実習
12	メイク・ベーシック	山崎 紀代	非常勤	0	7	7	選択必修	専門	実習
13	ヘッドスパ	濱田 孝映	常勤	32	36	68	選択必修	専門	実習
14	アイラッシュ	光富 千尋	非常勤	33	0	33	選択必修	専門	実習
15	美容総合技術ヘアセット	山崎 紀代	常勤	0	36	36	選択必修	専門	実習
16	美容総合技術ヘアカラー	濱田・前田	常勤	20	0	20	選択必修	専門	実習
17	美容総合技術カット(トリー)	久川・濱田・中村	常勤	36	0	36	選択必修	専門	実習
18	美容総合技術カット(ZERO)	久川・濱田・中村	常勤	40	0	40	選択必修	専門	実習
19	美容総合技術カット(RT)	久川・濱田・中村	常勤	12	0	12	選択必修	専門	実習
20	美容総合技術ヘアデザイン	久川・濱田・中村	常勤	0	46	46	選択必修	専門	実習
合計時間数				460	628	1088			

学科目標と授業時間数一覧

年度	学科名	学年	担任名					
令和 6年度	美容総合学科ネイルコース	2年	濱田 孝映					
学科概略	高度な知識と即戦力となる技術を習得し、美容業界に貢献できる高い意識をもった人材を養成する学科である。国家資格である美容師免許取得はもとより、社会人としての人間力や常識を備えた次世代を担う技術者を養成する。							
	コース選択制導入を最大限活かし多角的に美容業界で活躍できる人材を育てる。							
到達目標	・挨拶、返事など基本的行動の徹底							
	・美容の基礎技術を身に付け・理論を十分理解し美容師国家試験対策に対応できる学力をつける							
	・自からが考え、行動し、自立する							
	・各種検定取得(ネイル技能検定3級・ジェルネイル技能検定初級)							
目標へ対しての具体的取組	1)学外実習を行い、接客マナー、ビジネスマインドをはじめ、社会に通用する基本的マナーを身につける。							
	2)美容師としての基礎的な技術や、理論をその度チェックや補講を行い理解、習得していく。							
	3)感性、創造性を培うために外部へのイベントに積極的に参加し、「本物」の情報収集、提供をしていく。							
授 業 時 間 数 及 び 区 分								
科目名	担当教員	授業時間数		年間授業時間数	授業区分①	授業区分②	授業方法	
		前期	後期					
1 関係法規・制度	宮上 知史	非常勤	10	0	10	必修	専門	講義
2 衛生管理	中村 光良	常勤	25	18	43	必修	専門	講義
3 保健	濱田 孝映	常勤	28	14	42	必修	専門	講義
4 化粧品化学	久川 理香	常勤	11	14	25	必修	専門	講義
5 美容技術理論	中村・濱田・久川	常勤	38	28	66	必修	専門	講義
6 美容実習	中村・濱田・久川	常勤	133	391	524	必修	専門	実習
7 運営管理	宮上 知史	非常勤	3	7	10	必修	専門	講義
8 文化論	山崎 紀代	非常勤	22	0	22	必修	専門	講義
9 接遇	西村 侑剛	非常勤	17	20	37	選択必修	一般	演習
10 一般教養	福重・吉井	常勤	0	4	4	選択必修	一般	演習
11 色彩学	山崎 道	非常勤	0	7	7	選択必修	専門	実習
12 メイク・ベーシック	山崎 紀代	非常勤	0	7	7	選択必修	専門	実習
13 ヘッドスパ	濱田 孝映	常勤	32	36	68	選択必修	専門	実習
14 アイラッシュ	光富 千尋	非常勤	33	0	33	選択必修	専門	実習
15 美容総合技術 ネイルアドバンス	久川・矢野	常勤	108	64	190	選択必修	専門	実習
16								
17								
18								
19								
20								
合計時間数			460	1698	1088			

学科目標と授業時間数一覧

年度	学科名	学年	担任名					
令和 6年度	美容総合学科 ビューティ&ブライダルコース	2年	濱田 孝映					
学科概略	高度な知識と即戦力となる技術を習得し、美容業界に貢献できる高い意識をもった人材を養成する学科である。国家資格である美容師免許取得はもとより、社会人としての人間力や常識を備えた次世代を担う技術者を養成する。							
	コース選択制導入を最大限活かし多角的に美容業界で活躍できる人材を育てる。							
到達目標	・挨拶、返事など基本的行動の徹底							
	・美容の基礎技術を身に付け・理論を十分理解し美容師国家試験対策に対応できる学力をつける							
	・自からが考え、行動し、自立する							
	・各種コンペティション入賞(ビューティグランプリ・フォトコンテストなど)							
目標へ対しての具体的取組	1)学外実習を行い、接客マナー、ビジネスマインドをはじめ、社会に通用する基本的マナーを身につける。							
	2)美容師としての基礎的な技術や、理論をその度チェックや補講を行い理解、習得していく。							
	3)感性、創造性を培うために外部へのイベントに積極的に参加し、「本物」の情報収集、提供をしていく。							
授 業 時 間 数 及 び 区 分								
科目名	担当教員	授業時間数		年間授業時間数	授業区分①	授業区分②	授業方法	
		前期	後期					
1 関係法規・制度	宮上 知史	非常勤	10	0	10	必修	専門	講義
2 衛生管理	中村 光良	常勤	25	18	43	必修	専門	講義
3 保健	濱田 孝映	常勤	28	14	42	必修	専門	講義
4 化粧品化学	久川 理香	常勤	11	14	25	必修	専門	講義
5 美容技術理論	中村・濱田・久川	常勤	38	28	66	必修	専門	講義
6 美容実習	中村・濱田・久川	常勤	133	391	524	必修	専門	実習
7 運営管理	宮上 知史	非常勤	3	7	10	必修	専門	講義
8 文化論	山崎 紀代	非常勤	22	0	22	必修	専門	講義
9 接遇	西村 侑剛	非常勤	17	20	37	選択必修	一般	演習
10 一般教養	福重・吉井	常勤	0	4	4	選択必修	一般	演習
11 色彩学	山崎 道	非常勤	0	7	7	選択必修	専門	実習
12 メイク・ベーシック	山崎 紀代	非常勤	0	7	7	選択必修	専門	実習
13 ヘッドスパ	濱田 孝映	常勤	32	36	68	選択必修	専門	実習
14 アイラッシュ	光富 千尋	非常勤	33	0	33	選択必修	専門	実習
15 美容総合技術ヘアセット	山崎 紀代	非常勤	0	36	36	選択必修	専門	実習
16 美容総合技術着付け	斧山 睦	非常勤	28	0	28	選択必修	専門	実習
17 美容総合技術メイクアドバンス	山崎 紀代	非常勤	48	46	94	選択必修	専門	実習
18 美容総合技術フェイシャルエステ	久川 理香	常勤	32	0	32	選択必修	専門	実習
19								
20								
合計時間数			460	1716	1088			

令和 6年度 シラバス

授業科目	関係法規・制度	単位／時間	10h			
開講学科等	美容総合学科2年	担当教員	宮上知史			
授業の目的・テーマ	1年に引き続き、美容業に関する関係法規・制度について正しい知識習得の必要性を理解させるとともに公衆衛生を担う社会的義務、職業倫理についても自覚を促す。美容師に関する規制内容を正確に理解させるとともに、衛生法規が美容業を行う場合の指針になることを理解させる。					
授業の到達目標	①法とは何かを理解する。②衛生行政の仕組みを理解する。③美容師、美容所に関する法規制を理解する。④美容業に関する法規について理解する。					
授業 の 計 画	1	4月 12日 1h	1年時学習項目の復習確認	26	月 日 h	
	2	4月 19日 1h	衛生に関連する法律①	27	月 日 h	
	3	4月 26日 1h	衛生に関連する法律②	28	月 日 h	
	4	5月 10日 1h	業の振興に関連する法律	29	月 日 h	
	5	5月 14日 1h	雇用に関連する法律	30	月 日 h	
	6	5月 24日 1h	消費者保護に関連する法律	31	月 日 h	
	7	6月 7日 1h	美容師法の構成	32	月 日 h	
	8	6月 14日 1h	美容師法の歴史	33	月 日 h	
	9	6月 21日 1h	期末試験	34	月 日 h	
	10	6月 28日 1h	期末試験解答解説	35	月 日 h	
	11	月 日 h		36	月 日 h	
	12	月 日 h		37	月 日 h	
	13	月 日 h		38	月 日 h	
	14	月 日 h		39	月 日 h	
	15	月 日 h		40	月 日 h	
	16	月 日 h		41	月 日 h	
	17	月 日 h		42	月 日 h	
	18	月 日 h		43	月 日 h	
	19	月 日 h		44	月 日 h	
	20	月 日 h		45	月 日 h	
	21	月 日 h		46	月 日 h	
	22	月 日 h		47	月 日 h	
	23	月 日 h		48	月 日 h	
	24	月 日 h		49	月 日 h	
	25	月 日 h		50	月 日 h	
授業の方法	テキストを中心に適宜プリントを利用して講義する					
テキスト/参考文献	公益社団法人 日本理容美容教育センター 関係法規・制度					
評価の方法や基準	期末試験100%					
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する						
実務経験						
実務経験の活かし方						
履修上の注意事項						

令和 6年度 シラバス

授業科目	衛生管理	単位/時間	43								
開講学科等	美容総合学科2年	担当教員	中村 光良								
授業の目的・テーマ	公衆衛生発展の歩み免疫学の確立などの衛生歴史を知ることにより知識を深めやすく近代衛生への繋がりを学ぶ。										
授業の到達目標	公衆衛生の歴史、環境衛生、母子保健、医療制度等の理解。										
授業の計画	1	4.16	2h	人と感染症	26						h
	2	4.23	2h	感染症の分類①	27						h
	3	4.30	2h	感染症の分類②	28						h
	4	5.7	2h	感染症の分類③	29						h
	5	5.14	2h	病原微生物①	30						h
	6	5.21	2h	病原微生物②	31						h
	7	5.28	2h	感染症の予防	32						h
	8	6.4	2h	理容・美容と感染症	33						h
	9	6.11	2h	主な感染症①	34						h
	10	6.18	2h	主な感染症②	35						h
	11	6.25	2h	主な感染症③	36						h
	12	7.2	2h	消毒法とは	37						h
	13	7.9	2h	感染経路テスト	38						h
	14	7.16	2h	消毒の意義	39						h
	15	10.8	1h	消毒法の意義	40						h
	16	10.15	1h	感染症分類テスト	41						h
	17	10.21	1h	確認テスト	42						h
	18	10.29	2h	理容・美容の業務と消毒との関係	43						h
	19	11.5	2h	消毒法と適用上の注意	44						h
	20	11.12	2h	理学的消毒法	45						h
	21	11.19	2h	化学的消毒法	46						h
	22	11.26	2h	すぐれた消毒法とその実施上の注意	47						h
	23	12.3	2h	理容所・美容所の消毒の実際	48						h
	24			h		49					h
	25			h		50					h
授業の方法	講義										
テキスト/参考文献	教科書、ワークブック、過去問題										
評価の方法や基準	提出物、試験成績、授業態度などによって総合的に評価する。										
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する											○
実務経験	美容師としての実務経験、日本理容美容教育センター教員研修（衛生管理）受講										
実務経験の活かし方	サロンワークで必要な衛生管理と担当科目の教員研修による国家試験対応										
履修上の注意事項	出席率90%・ノートの提出										

令和 6 年度 シラバス

授業科目	保健	単位／時間	42h							
開講学科等	美容総合学科 2年	担当教員	濱田 孝映							
授業の目的・テーマ	皮膚、毛髪の仕事について詳細に学ぶ。第1篇、第2編を復習し再確認をする。									
授業の到達目標	皮膚、毛髪の仕事について学び、保護と予防を考える事ができる。国家試験過去問を確実に理解し解答解説が出来る。									
授業の計画	1	4/16	2h	皮膚と付属器官の保健	26					h
	2	4/23	2h	皮膚と付属器官の保健	27					h
	3	4/30	2h	皮膚と付属器官の疾患	28					h
	4	5/7	2h	皮膚と付属器官の疾患	29					h
	5	5/14	2h	皮膚と付属器官の疾患	30					h
	6	5/21	2h	皮膚と付属器官の疾患	31					h
	7	5/28	2h	皮膚と付属器官の疾患	32					h
	8	6/4	2h	皮膚と付属器官の疾患	33					h
	9	6/11	2h	第1編復習	34					h
	10	6/18	2h	第1編復習	35					h
	11	6/25	2h	前期試験	36					h
	12	7/2	2h	第1編復習	37					h
	13	7/9	2h	第2編復習	38					h
	14	7/16	2h	第2編復習	39					h
	15	10/8	2h	第2編復習	40					h
	16	####	2h	国試対策	41					h
	17	####	2h	国試対策	42					h
	18	####	2h	国試対策	43					h
	19	11/5	2h	後期試験	44					h
	20	####	2h	国試対策	45					h
	21	####	2h	国試対策	46					h
	22			h	47					h
	23			h	48					h
	24			h	49					h
	25			h	50					h
授業の方法	教科書を中心の座学									
テキスト/参考文献	保健教科書、ワークブック、解剖生理学									
評価の方法や基準	提出物(20)、試験成績(80)により評価									
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する										○
実務経験	美容師歴13年。養成施設教員歴12年。 保健教員資格認定試験修了。									
実務経験の活かし方	美容師の経験と養成施設の経験を交えて、保健の大切さを伝える。									
履修上の注意事項										

令和6年度 シラバス

授業科目	化粧品化学	単位/時間	25時間	
開講学科等	美容総合学科2年	担当教員	久川 理香	
授業の目的・テーマ	化粧品概論、原料、基礎・メイクアップ・頭皮毛髪用化粧品、芳香製品・特殊化粧品の基礎的・基本的な内容について復習し、国家試験に対応できる学力の育成を図る。			
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・化粧品化学を理解し、美容に応用できる。 ・美容師国家試験合格 			
授業 の 計 画	1	6月 20日 1h 第2章メイクアップ製品1節種類と剤形2節ベースメイクアップ化粧品	26	月 日 h
	2	6月 27日 1h 第2章3節ポイントメイクアップ化粧品4節アイメイクアップ化粧品	27	月 日 h
	3	7月 2日 2h 第2章5節まつ毛ケア製品・6節ネイルメイクアップ製品・7節ネイルケア製品・プリント	28	月 日 h
		7月 4日 1h 第3章ヘアケア1節ヘアクレンジング用化粧品2節ヘアコンディショニング用化粧品	29	月 日 h
	5	7月 9日 2h 第3章3節ヘアスタイリング料・プリント	30	月 日 h
	6	7月 11日 1h 第3章4節パーマ剤	31	月 日 h
	7	7月 16日 2h 第3章4節パーマ剤プリント5節ヘアカラー製品	32	月 日 h
	8	7月 18日 1h ヘアカラー製品・スキャルブケア製品プリント	33	月 日 h
	9	10月 25日 2h 成分一覧表	34	月 日 h
	10	11月 1日 2h 成分一覧表	35	月 日 h
	11	11月 8日 2h 界面活性剤復習	36	月 日 h
	12	11月 15日 2h パーマ剤復習	37	月 日 h
	13	11月 22日 2h ヘアカラー製品復習	38	月 日 h
	14	11月 29日 2h その他まとめ	39	月 日 h
	15	12月 6日 2h テスト	40	月 日 h
	16	月 日 h	41	月 日 h
	17	月 日 h	42	月 日 h
	18	月 日 h	43	月 日 h
	19	月 日 h	44	月 日 h
	20	月 日 h	45	月 日 h
	21	月 日 h	46	月 日 h
	22	月 日 h	47	月 日 h
	23	月 日 h	48	月 日 h
	24	月 日 h	49	月 日 h
	25	月 日 h	50	月 日 h
授業の方法	講義・パワーポイント・まとめプリント・小テスト			
テキスト/参考文献	化粧品化学（日本理容美容教育センター）・化粧品成分表			
評価の方法や基準	提出物および小テスト（60）・授業態度（30）・出席率（10）			
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する				
実務経験				
実務経験の活かし方				
履修上の注意事項	モニターの設置/プリントチェック・保管			

令和 6 年度 シラバス

授業科目	美容技術理論	単位/時間	66h			
開講学科等	美容総合学科 2年	担当教員	濱田 孝映			
授業の目的・テーマ	多様化する美容の技術に対応するには、裏付けされた理論が求められる。科学的根拠や正しい裏づけを理解・学習し、技術の習得を容易にさせる。					
授業の到達目標	美容技術の基礎知識を理解させ、国家試験筆記を合格レベルにする。					
授業の計画	1	4/12	2h	章テスト・エステティック概論	26	h
	2	4/19	2h	皮膚の生理と構造・カウンセリング	27	h
	3	4/26	2h	美容におけるマッサージ理論・フェイシャルケア技術・デコルテ	28	h
	4	5/10	2h	フェイシャルパック・ボディケア技術・章テスト	29	h
	5	5/17	2h	メイクアップ概論	30	h
	6	5/24	2h	顔の形態学・メイクアップと色彩・メイクアップの道具・スキンケア・ベースメイク・アイメイク	31	h
	7	6/7	2h	アイブロウ・リップ・ブラッシュアップ・まつ毛エクステンション	32	h
	8	6/13	6/14	4h 章テスト 日本髪の由来・各部の名称・種類と特徴調和・日本髪の装飾品	33	h
	9	6/20	6/21	4h 日本髪の由来・各部の名称・種類と特徴調和・日本髪の装飾品	34	h
	10	6/27	6/28	4h 日本髪の結髪技術・かつら・期末試験	35	h
	11	7/4	7/5	4h 着付けの目的・礼装・季節・着物のいろいろ・帯・小物	36	h
	12	7/11	7/12	4h 着物各部の名称・たたみ方・着付けの一般的要領・留袖	37	h
	13	7/18	7/19	4h 振袖・袴着付け技術・和装花嫁・洋装花嫁	38	h
	14	10/10	10/11	4h 国試対策	39	h
	15	10/17	10/18	4h 国試対策	40	h
	16	10/24		2h 国試対策	41	h
	17	10/31		2h 国試対策	42	h
	18	11/7		2h 国試対策	43	h
	19	11/14		2h 国試対策	44	h
	20	11/21		2h 国試対策	45	h
	21	11/26	11/28	4h 国試対策	46	h
	22	12/3	12/5	4h 国試対策	47	h
	23	12/12		2h 国試対策	48	h
	24			h	49	h
	25			h	50	h
授業の方法	教科書を中心に、パソコン・モニターを使用して講義する					
テキスト/参考文献	美容技術理論 1・2 ベーシックケミカル改訂版 ワークブック 美容師国家試験筆記過去問題集					
評価の方法や基準	提出物20% 章テスト30% 期末試験50%の総合で評価する					
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する				○		
実務経験	美容師歴13年。養成施設教員歴12年。 美容技術理論・実習教員資格認定試験修了。					
実務経験の活かし方	サロンでの実際を交えながら美容理論を理解させる					
履修上の注意事項	予習・復習を心がけ、配布プリントやノートはいつでも出せるようにする。 持参物：美容技術理論教科書 筆記用具					

令和 6 年度 シラバス

授業科目	美容実習	単位/時間	525h												
開講学科等	美容総合学科 2年	担当教員	濱田・中村・久川												
授業の目的・テーマ	1年次に学んだ技術を再確認。国家試験（実技）の技術のテクニック、構成の理解。年末には全員決められたタイムに入るようにする。年明けは細かい技術を確実にマスターでき、国家試験（実技）合格を目指す。														
授業の到達目標	国家試験（実技・衛生）3課題を全員が合格できるようにする。														
授業の計画	1	4/12			3h	1年次の復習	26	11/5	11/6	11/7			9h	国試課題	
	2	4/15	4/16	4/17	4/19	20h	ワインド・オールウェーブ	27	####	####	####	####		16h	国試課題
	3	4/22	4/23	4/24	4/26	14h	ワインド・オールウェーブ	28	####	####	####	####		16h	国試課題
	4	4/30				3h	オールウェーブ	29	####	####	####	####	11/29	17h	国試課題
	5	5/7	5/10			6h	ワインド・オールウェーブ	30	12/2	12/3	12/4	12/5	12/6	19h	国試課題
	6	5/13	5/14	5/17		12h	カット・オールウェーブ	31	####	####				6h	国試課題
	7	5/20	5/21			9h	カット・オールウェーブ	32	1/7	1/8	1/9	1/10		28h	国試課題
	8	5/27	5/28			9h	カット・オールウェーブ	33	1/14	1/15	1/16	1/17		28h	国試課題
	9	6/3	6/4			9h	カット・オールウェーブ	34	1/20	1/21	1/22	1/23	1/24	35h	国試課題
	10	6/11				2h	オールウェーブ	35	1/27	1/28	1/29	1/30	1/31	35h	国試課題
	11	6/17	6/18			9h	カット・ワインド・オールウェーブ	36	2/3	2/4	2/5	2/6	2/7	35h	国試課題
	12	6/24	6/25			9h	カット・ワインド・オールウェーブ	37						h	
	13	7/1	7/2			9h	ワインド・オールウェーブ	38						h	
	14	7/8	7/9			9h	ワインド・オールウェーブ	39						h	
	15	7/16	7/17			5h	ワインド・オールウェーブ・期末テスト	40						h	
	16	7/22				5h	ワインド・オールウェーブ	41						h	
	17	9/2	9/4	9/6		14h	ワインド・オールウェーブ	42						h	
	18	9/9	9/11	9/13		17h	ワインド・オールウェーブ	43						h	
	19	9/17	9/18	9/19	9/20	16h	ワインド・オールウェーブ	44						h	
	20	9/24	9/25	9/26	9/27	20h	ワインド・オールウェーブ	45						h	
	21	9/30	10/1	10/2	10/3	24h	カット・ワインド・オールウェーブ	46						h	
	22	10/7	10/8	10/9	####	16h	カット・ワインド・オールウェーブ	47						h	
	23	####	####	####		9h	カット・ワインド・オールウェーブ	48						h	
	24	####	####	####	####	16h	カット・ワインド・オールウェーブ	49						h	
	25	####	####	####	####	16h	カット・ワインド・オールウェーブ	50						h	
授業の方法	教科書をベースに理論、教員がデモを見せ、実習させる。														
テキスト/参考文献	美容実習 1, 2 (教科書) 美容師実技試験課題「技術の解説」														
評価の方法や基準	実習テスト100%														
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する													○		
実務経験	美容師として勤務。日本理容美容教育センター（美容技術理論・美容実習研修済）														
実務経験の活かし方	髪の毛を扱ううえで、コームの持ち方、スライスの仕方、ハサミの持ち方、基本的な姿勢から教えていく。国家試験課題は教員経験で養った技術、テクニックを教えていく。														
履修上の注意事項	教材（ハサミetc）でのケガ、衛生の徹底、カリキュラムに沿った準備の徹底														

令和 6年度 シラバス

授業科目	運営管理	単位／時間	10h			
開講学科等	美容総合学科2年	担当教員	宮上知史			
授業の目的・テーマ	1年に引き続き、美容所の運営に欠かせない経営戦略、経営管理、労務管理など基本的な理論や事項を学び、健康管理についても考えられるようにする。					
授業の到達目標	経営の基礎を学び経営戦略や経営計画について理解する。会計の歴史、基本構造を学び会計が経営に役立つことを理解する。労務管理に関する法律や制度の概要を理解する。美容業などサービス業の特徴を理解する。					
授業 の 計 画	1	7月 5日 1h	1年時学習項目の復習確認	26	月 日 h	
	2	7月 12日 1h	健康管理の基礎	27	月 日 h	
	3	7月 19日 1h	美容の仕事と健康	28	月 日 h	
	4	10月 11日 1h	美容業に特徴的な健康問題	29	月 日 h	
	5	10月 18日 1h	サービス・デザイン	30	月 日 h	
	6	10月 25日 1h	サービス・マーケティング①	31	月 日 h	
	7	11月 1日 1h	サービス・マーケティング②	32	月 日 h	
	8	11月 8日 1h	マーケティングの最新情報	33	月 日 h	
	9	11月 15日 1h	接客について	34	月 日 h	
	10	11月 22日 1h	期末試験	35	月 日 h	
	11	月 日 h		36	月 日 h	
	12	月 日 h		37	月 日 h	
	13	月 日 h		38	月 日 h	
	14	月 日 h		39	月 日 h	
	15	月 日 h		40	月 日 h	
	16	月 日 h		41	月 日 h	
	17	月 日 h		42	月 日 h	
	18	月 日 h		43	月 日 h	
	19	月 日 h		44	月 日 h	
	20	月 日 h		45	月 日 h	
	21	月 日 h		46	月 日 h	
	22	月 日 h		47	月 日 h	
	23	月 日 h		48	月 日 h	
	24	月 日 h		49	月 日 h	
	25	月 日 h		50	月 日 h	
授業の方法	テキストを中心に適宜プリントを使い講義する。					
テキスト/参考文献	公益社団法人 日本理容美容教育センター 運営管理					
評価の方法や基準	期末試験100%					
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する						
実務経験						
実務経験の活かし方						
履修上の注意事項						

令和 6 年度 シラバス

授業科目	文化論	単位／時間	22						
開講学科等	美容総合学科 2 年	担当教員	山崎 紀代						
授業の目的・テーマ	ファッションの歴史をまとめながら流れを理解する 国試対策授業								
授業の到達目標	美容に不可欠なファッション感覚を身につけ。表現できる								
授業 の 計 画	1	4	18	3h	1930年代まとめ	26	月	日	h
	2	4	25	3h	1940年代まとめ	27	月	日	h
	3	5	2	3h	1950年代まとめ	28	月	日	h
	4	5	9	3h	1960年代まとめ	29	月	日	h
	5	5	16	3h	1970年代まとめ	30	月	日	h
	6	5	23	3h	1980年代まとめ	31	月	日	h
	7	5	30	2h	1990年代まとめ	32	月	日	h
	8	6	6	2h	2000年代まとめ	33	月	日	h
	9	月	日	h		34	月	日	h
	10	月	日	h		35	月	日	h
	11	月	日	h		36	月	日	h
	12	月	日	h		37	月	日	h
	13	月	日	h		38	月	日	h
	14	月	日	h		39	月	日	h
	15	月	日	h		40	月	日	h
	16	月	日	h		41	月	日	h
	17	月	日	h		42	月	日	h
	18	月	日	h		43	月	日	h
	19	月	日	h		44	月	日	h
	20	月	日	h		45	月	日	h
	21	月	日	h		46	月	日	h
	22	月	日	h		47	月	日	h
	23	月	日	h		48	月	日	h
	24	月	日	h		49	月	日	h
	25	月	日	h		50	月	日	h
授業の方法	教科書の基づきそれぞれの時代のイメージボード作り								
テキスト/参考文献	教科書 DVD ネットなどの中からの写真や動画を使用								
評価の方法や基準	レポート提出 授業態度 テスト								
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する									
実務経験	美術教員資格・美容師・花嫁着付け・ブライダル・ファッションショー								
実務経験の活かし方	ファッションの歴史や・通過儀礼に携わりながら日本の文化を教えることができる								
履修上の注意事項	映像や写真、絵画など沢山の資料に目を通す事をさせるようにする								

令和 6年度 シラバス

授業科目	接遇	単位/時間	37 h						
開講学科等	美容総合学科 2年	担当教員	西村 侑剛						
授業の目的・テーマ	就職先で必要とされ輝く人材になる								
授業の到達目標	マナーを身につけサービス力、コミュニケーション力を上げ個人の魅力UPに繋げる								
授業 の 計 画	1	4月12日	1h	スピーチ	26	月	日	h	
	2	4月19日	1h	スピーチ 電話対応	27	月	日	h	
	3	4月22, 26日	3h	電話対応 名指し人在籍、不在、伝言メモ	28	月	日	h	
	4	5月10日	1h	電話対応 道案内	29	月	日	h	
	5	5月14, 17日	2h	電話対応 クレーム対応、ロールプレイ	30	月	日	h	
	6	5月21日	1h	電話対応 ロールプレイ	31	月	日	h	
	7	5月28日	1h	電話対応 ロールプレイ	32	月	日	h	
	8	6月4日	1h	電話対応 テスト	33	月	日	h	
	9	6月11日	1h	電話対応 テスト 来客対応	34	月	日	h	
	10	6月18日	1h	来客対応	35	月	日	h	
	11	6月25日	1h	来客対応	36	月	日	h	
	12	7月2日	1h	名刺交換	37	月	日	h	
	13	7月9日	1h	席次	38	月	日	h	
	14	7月16日	1h	冠婚葬祭	39	月	日	h	
	15	#####	2h	スピーチ テスト準備	40	月	日	h	
	16	#####	2h	まとめテスト、コミュニケーション基本	41	月	日	h	
	17	#####	2h	コミュニケーション基本	42	月	日	h	
	18	#####	2h	コミュニケーション基本	43	月	日	h	
	19	11月7日	2h	コミュニケーション基本	44	月	日	h	
	20	#####	2h	来客対応 ロールプレイ	45	月	日	h	
	21	#####	2h	来客対応 ロールプレイ	46	月	日	h	
	22	#####	2h	来客対応 ロールプレイ	47	月	日	h	
	23	12月2日	2h	来客対応 クレーム対応	48	月	日	h	
	24	#####	2h	来客対応 クレーム対応	49	月	日	h	
	25			h		50	月	日	h
授業の方法	座学、ロールプレイング								
テキスト/参考文献	実践ビジネスマナー								
評価の方法や基準	身だしなみ25% 授業態度、コミュニケーション50% 試験25%								
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する									○
実務経験	ビジネスマナー講師 企業研修講師 サービス業 コーチング コミュニケーション講師 ナレーター 自営業								
実務経験の活かし方	魅せ方や声の指導、本音を引き出し考えてもらい自発的意思を育む サービス、価値の提供について実体験を伝える								
履修上の注意事項	マナー、コミュニケーションは想像力を使い積極的に取り組む ビジネススーツは指定の期間着用								

令和 6年度 シラバス

授業科目	一般教養	単位／時間	4h		
開講学科等	美容総合学科2年	担当教員	吉井 多絵		
授業の目的・テーマ	ビジネスの場で求められるWord、Excelの操作、ビジネスメールについて学ぶ。パソコンの便利な使い方とともに基本的なビジネスマナーについても学ぶ。				
授業の到達目標	ビジネスの場でパソコンをツールとして使いこなせるようになる。				
授業 の 計 画	1	9月 19日 4h	まとめ	26	月 日 h
	2	月 日 h		27	月 日 h
	3	月 日 h		28	月 日 h
	4	月 日 h		29	月 日 h
	5	月 日 h		30	月 日 h
	6	月 日 h		31	月 日 h
	7	月 日 h		32	月 日 h
	8	月 日 h		33	月 日 h
	9	月 日 h		34	月 日 h
	10	月 日 h		35	月 日 h
	11	月 日 h		36	月 日 h
	12	月 日 h		37	月 日 h
	13	月 日 h		38	月 日 h
	14	月 日 h		39	月 日 h
	15	月 日 h		40	月 日 h
	16	月 日 h		41	月 日 h
	17	月 日 h		42	月 日 h
	18	月 日 h		43	月 日 h
	19	月 日 h		44	月 日 h
	20	月 日 h		45	月 日 h
	21	月 日 h		46	月 日 h
	22	月 日 h		47	月 日 h
	23	月 日 h		48	月 日 h
	24	月 日 h		49	月 日 h
	25	月 日 h		50	月 日 h
授業の方法	パソコンを使用した実習				
テキスト/参考文献	よくわかるWord2019、よくわかるExcel2019 (FOM出版)				
評価の方法や基準	出席、授業態度、提出物				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					○
実務経験	パソコン教室、職業訓練校、専門学校、一般企業、官公庁、医療機関等にてパソコン講師。高知県会計年度任用職員（県立学校にてパソコン講師）。				
実務経験の活かし方	様々な業種や多分野での講師経験を活かし、実社会で求められるスキルをレクチャーします。				
履修上の注意事項	データ保存用USB、筆記用具 龍馬学園メールアカウント（※パスワード入力あり）				

令和 6 年度 シラバス

授業科目	色彩学	単位／時間	7h		
開講学科等	美容総合学科 2年	担当教員	山崎道		
授業の目的・テーマ	色彩に関する基本的な理論や体系的な知識を身につける。 カラーカード・絵具(画材)を使用する実習を行い、色彩の基本的な事柄を習得する。				
授業の到達目標	色の特性を理解して、目的にあった「活かして使う・正しく使う」ことを展開する。 パーソナルカラーに基づいたイメージのカラーコーディネートができるようになる。 パーソナルカラー検定：3級資格を取得する。				
授業 の 計 画	1	9月 12日 7h	まとめ	26	月 日 h
	2	月 日 h		27	月 日 h
	3	月 日 h		28	月 日 h
	4	月 日 h		29	月 日 h
	5	月 日 h		30	月 日 h
	6	月 日 h		31	月 日 h
	7	月 日 h		32	月 日 h
	8	月 日 h		33	月 日 h
	9	月 日 h		34	月 日 h
	10	月 日 h		35	月 日 h
	11	月 日 h		36	月 日 h
	12	月 日 h		37	月 日 h
	13	月 日 h		38	月 日 h
	14	月 日 h		39	月 日 h
	15	月 日 h		40	月 日 h
	16	月 日 h		41	月 日 h
	17	月 日 h		42	月 日 h
	18	月 日 h		43	月 日 h
	19	月 日 h		44	月 日 h
	20	月 日 h		45	月 日 h
	21	月 日 h		46	月 日 h
	22	月 日 h		47	月 日 h
	23	月 日 h		48	月 日 h
	24	月 日 h		49	月 日 h
	25	月 日 h		50	月 日 h
授業の方法	講義・実習				
テキスト/参考文献	色彩活用 パーソナルカラー検定公式テキスト3級 / 配色カード199a				
評価の方法や基準	出席率(30%) 授業態度(20%) 実習課題(30%) 学期末試験(20%)				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					○
実務経験	建築設計事務所カラーコーディネーター担当 パブリックアート設置(高知医療センター) アーティスト活動(個展・グループ展など)				
実務経験の活かし方	色彩を通して展開をしてきた内容を現在の社会状況を感じながら展開をしていく。				
履修上の注意事項	日頃から身の回りのことに興味を持ち、表現力を身につける。 資料・実習課題の保管をすること。				

令和 6 年度 シラバス

授業科目	メイクベーシック2年	単位/時間	7 h		
開講学科等	美容総合学科2年	担当教員	山崎 紀代		
授業の目的・テーマ	美容師としてトータルで美を追求するためには不可欠なメイク知識。テクニックを学ぶ				
授業の到達目標	顔立ちに合わせてのメイクアップを可能にし、美しい所作も身につける				
授業 の 計 画	1	9月 5日 7h	まとめ	26	月 日 h
	2	月 日 h		27	月 日 h
	3	月 日 h		28	月 日 h
	4	月 日 h		29	月 日 h
	5	月 日 h		30	月 日 h
	6	月 日 h		31	月 日 h
	7	月 日 h		32	月 日 h
	8	月 日 h		33	月 日 h
	9	月 日 h		34	月 日 h
	10	月 日 h		35	月 日 h
	11	月 日 h		36	月 日 h
	12	月 日 h		37	月 日 h
	13	月 日 h		38	月 日 h
	14	月 日 h		39	月 日 h
	15	月 日 h		40	月 日 h
	16	月 日 h		41	月 日 h
	17	月 日 h		42	月 日 h
	18	月 日 h		43	月 日 h
	19	月 日 h		44	月 日 h
	20	月 日 h		45	月 日 h
	21	月 日 h		46	月 日 h
	22	月 日 h		47	月 日 h
	23	月 日 h		48	月 日 h
	24	月 日 h		49	月 日 h
	25	月 日 h		50	月 日 h
授業の方法	相モデル				
テキスト/参考文献					
評価の方法や基準	授業態度、実技テスト				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					○
実務経験	メイクアップアーティストとしての事務所所属・美容師としてサロンワーク、ブライダル 講師活動				
実務経験の活かし方	メイクアップアーティストの仕事を理解してもらう				
履修上の注意事項	道具を管理し衛生面に気をつけるためアルコール消毒を用意する				

令和 6 年度 シラバス

授業科目	ヘッドスパ										単位/時間	68h	
開講学科等	美容総合学科 2年										担当教員	濱田 孝映	
授業の目的・テーマ	美容サロンでのスパニストの需要が増加し、リラクゼーション技術も進歩していることから、外面と内面の美しさを引き出せるヘッドスパ技術と知識を身につける。												
授業の到達目標	ヘッドからデコルテまでのマッサージ技術を身につける。												
授業の計画	1	5/24				4h	A ヘッドスパ理論・マッサージ・バックシャンブー技術実習	26					h
	2	6/7				4h	相モデル ヘッドスパ/バックシャンブー実習 (手順確認)	27					h
	3	6/14				4h	相モデル ヘッドスパ/バックシャンブー実習 (動作確認)	28					h
	4	6/21				4h	//	29					h
	5	6/28				4h	//	30					h
	6	7/5				4h	//	31					h
	7	7/12				4h	テスト (実習)	32					h
	8	7/19				4h	テスト (実習)	33					h
	9	10/11				4h	B ヘッドスパ理論・マッサージ・バックシャンブー技術実習	34					h
	10	10/18				4h	相モデル ヘッドスパ/バックシャンブー実習 (手順確認)	35					h
	11	10/25				4h	相モデル ヘッドスパ/バックシャンブー実習 (手順確認)	36					h
	12	11/1				4h	相モデル ヘッドスパ/バックシャンブー実習 (動作確認)	37					h
	13	11/8				4h	相モデル ヘッドスパ/バックシャンブー実習 (動作確認)	38					h
	14	11/15				4h	//	39					h
	15	11/22				4h	//	40					h
	16	11/29				4h	テスト (実習)	41					h
	17	12/6				4h	テスト (実習)	42					h
	18					h		43					h
	19					h		44					h
	20					h		45					h
	21					h		46					h
	22					h		47					h
	23					h		48					h
	24					h		49					h
	25					h		50					h
授業の方法	モニター、プリント等を使用し、講義と実習。												
テキスト/参考文献	美容実習 1 美容技術理論 1 TOMOTOMO												
評価の方法や基準	テスト結果100%で評価する												
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	○												
実務経験	美容師歴13年。養成施設教員歴12年。 美容技術理論・実習教員資格認定試験修了。												
実務経験の活かし方	サロンでの実際を交えながらマッサージ技術の理解度を深める												
履修上の注意事項	持参物：美容実習 1 配布プリント 筆記用具 ヘアケア用品												

令和6年度 シラバス

授業科目	アイラッシュ	単位/時間	33h	
開講学科等	美容総合学科2年	担当教員	光富 千尋	
授業の目的・テーマ	アイラッシュの知識を正しく理解し、安全な施術ができるようにする			
授業の到達目標	アイラッシュの基礎知識、安全な施術ができるよう技術の習得を目指します！			
授業 の 計 画	1	5月 1日 3h	(学科) まつ毛エクステの歴史、商材学等テキストでの学科	h
	2	5月 8日 3h	(学科) ワゴンセッティング(マネキン) テープワークについて、プレオフケアについて	h
	3	5月 15日 3h	(マネキン) ツイザーワークつけまつ毛で練習、(相モデル) テープワーク・プレオフケア、ツイザーワーク仕分けと装着	h
	4	5月 22日 3h	(相モデル) 基礎練習	h
	5	5月 29日 3h	(相モデル) 基礎練習	h
	6	6月 5日 3h	(相モデル) 基礎練習	h
	7	6月 12日 3h	(相モデル) 浮き絡み向きを意識して装着する	h
	8	6月 19日 3h	(相モデル) タイムを意識して装着する	h
	9	6月 26日 3h	(相モデル) 1時間タイムトライアル	h
	10	7月 3日 3h	(相モデル) ミックス装着20秒/1本	h
	11	7月 10日 3h	確認テスト(学科、実技)	h
	12	月 日 h		h
	13	月 日 h		h
	14	月 日 h		h
	15	月 日 h		h
	16	月 日 h		h
	17	月 日 h		h
	18	月 日 h		h
	19	月 日 h		h
	20	月 日 h		h
	21	月 日 h		h
	22	月 日 h		h
	23	月 日 h		h
	24	月 日 h		h
	25	月 日 h		h
授業の方法	テキストでの基礎知識、マネキン・相モデルで技術の習得			
テキスト/参考文献	まつ毛エクステンションテキスト (日本理容美容教育センター)			
評価の方法や基準	出席状況、授業態度などによって総合的に評価する。			
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する			○	
実務経験	13年			
実務経験の活かし方	美容サロン経営。美容専門学校・高等学校にて非常勤講師としてアイラッシュ・アイブロウの授業を担当。 美容室・個人向けの技術導入の指導。独立開業支援。			
履修上の注意事項	(準備物) はさみ、ごみ袋、エタノール、ポンプ、ベビー綿棒、精製水、コットン、フェイスタオル			

令和 6 年度 シラバス

授業科目	メイクアドバンス	単位/時間	76h					
開講学科等	美容総合学科 2 年	担当教員	山崎 紀代					
授業の目的・テーマ	ショー・コンテストに参加しながら想像力つける デザインの基礎からのメイクアップの表現							
授業の到達目標	TPOにあわせてイメージメイクアップができる コンテストやショーで結果を残す							
授業 の 計 画	1	5月 16日	4h	時代メイク1920年	26	月	日	h
	2	5月 23日	4h	次代メイク1960年	27	月	日	h
	3	5月 30日	4h	次代メイク1980年	28	月	日	h
	4	6月 6日	4h	コンテスト対策 1	29	月	日	h
	5	6月 13日	4h	コンテスト対策 2	30	月	日	h
	6	6月 20日	4h	写真撮影 1	31	月	日	h
	7	6月 27日	4h	コンテスト対策 3	32	月	日	h
	8	7月 4日	4h	コンテスト対策 4	33	月	日	h
	9	7月 10,11日	8h	コンテスト対策 5	34	月	日	h
	10	7月 17,18日	8h	写真撮影 2	35	月	日	h
	11	9月 4日	4h	ショー対策 コンセプト決め	36	月	日	h
	12	9月 11日	4h	ショー対策	37	月	日	h
	13	9月 18日	4h	ショー対策	38	月	日	h
	14	9月 25日	4h	ショー対策	39	月	日	h
	15	10月 2日	4h	ショー対策	40	月	日	h
	16	10月 9日	4h	ショー対策	41	月	日	h
	17	月 日	h		42	月	日	h
	18	月 日	h		43	月	日	h
	19	月 日	h		44	月	日	h
	20	月 日	h		45	月	日	h
	21	月 日	h		46	月	日	h
	22	月 日	h		47	月	日	h
	23	月 日	h		48	月	日	h
	24	月 日	h		49	月	日	h
	25	月 日	h		50	月	日	h
授業の方法	相モデル コンテスト・ショーなどの作品づくり。							
テキスト/参考文献	百日草 メイクブック							
評価の方法や基準	実技テスト 授業態度 作品作りの取り組み							
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					○			
実務経験	メイクアップアーティストとしての事務所所属・美容師としてサロンワーク、ブライダル 講師活動 ショー・雑誌撮影など							
実務経験の活かし方	メイクアップアーティストの仕事を理解してもらう							
履修上の注意事項	メイクアップのみでなく衣装やアクセサリーなど用意し、全体のイメージを作る							

令和6年度 シラバス

授業科目	美容総合技術ビューティ&ブライダルコース (フェイシャルエステ)	単位/時間	32時間	
開講学科等	美容総合学科2年ビューティ・ブライダルコース	担当教員	久川 理香	
授業の目的・テーマ	ハンド・エステ機器を使用したフェイシャルエステティック技術とホスピタリティーを習得する			
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイシャルクレンジング・マッサージの目的を理解しハンドテクニックが出来る。 ・エステ機器をスムーズに扱う事が出来る。 ・お客様に対してのホスピタリティーを身に付ける 			
授業 の 計 画	1	4月 18日 4h 授業オリエンテーション。準備・片付け	23	月 日 h
	2	4月 24日 4h ポイントメイク落とし・拭き取り (コットン)	24	月 日 h
		4月 25日 4h クレンジング・拭き取り (タオル)	25	月 日 h
	3	5月 1日 4h マッサージ (軽擦法・つなぎ軽擦)	26	月 日 h
		5月 2日 4h マッサージ (強擦法・揉捻法)	27	月 日 h
	4	5月 8日 4h マッサージ (打法・振動法・圧迫法・ツボ・軽擦法)	28	月 日 h
		5月 9日 4h テスト	29	月 日 h
	5	5月 15日 4h エステ機器 (ブラシクレンジング)・掃除	30	月 日 h
	6	月 日 h	31	月 日 h
	7	月 日 h	32	月 日 h
	8	月 日 h	33	月 日 h
	9	月 日 h	34	月 日 h
	10	月 日 h	35	月 日 h
	11	月 日 h	36	月 日 h
	12	月 日 h	37	月 日 h
	13	月 日 h	38	月 日 h
	14	月 日 h	39	月 日 h
	15	月 日 h	40	月 日 h
	16	月 日 h	41	月 日 h
	17	月 日 h	42	月 日 h
	18	月 日 h	43	月 日 h
	19	月 日 h	44	月 日 h
20	月 日 h	45	月 日 h	
21	月 日 h	46	月 日 h	
22	月 日 h	47	月 日 h	
授業の方法	実習 (相モデル)			
テキスト/参考文献	日本エステティック協会 新エステティック学技術編 I			
評価の方法や基準	実技チェック100			
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する			○	
実務経験	<ul style="list-style-type: none"> ・トータルビューティ科エステ実技教員 ・滝川エステティック学院卒 ・認定エステティシャン資格 			
実務経験の活かし方				
履修上の注意事項	身だしなみ (爪・髪) チェック・片付けのチェック			

令和 6年度 シラバス

授業科目	美容総合 着付け	単位/時間	28h		
開講学科等	美容総合学科ビューティブライダルコース2年	担当教員	斧山 睦		
授業の目的・テーマ	1年次の確認と的確な着付けが出来る。				
授業の到達目標	留袖着付けが時間内に出来る				
授業 の 計 画	1	5月 22日 4h	着付け準備・補正	26	月 日 h
	2	5月 29日 4h	留袖着付け	27	月 日 h
	3	6月 5日 4h	留袖着付け	28	月 日 h
	4	6月 12日 4h	留袖着付け	29	月 日 h
	5	6月 19日 4h	時間を決めて留袖着付け	30	月 日 h
	6	6月 26日 4h	時間を決めて留袖着付け	31	月 日 h
	7	7月 3日 4h	時間を決めて留袖着付け	32	月 日 h
	8	月 日 h		33	月 日 h
	9	月 日 h		34	月 日 h
	10	月 日 h		35	月 日 h
	11	月 日 h		36	月 日 h
	12	月 日 h		37	月 日 h
	13	月 日 h		38	月 日 h
	14	月 日 h		39	月 日 h
	15	月 日 h		40	月 日 h
	16	月 日 h		41	月 日 h
	17	月 日 h		42	月 日 h
	18	月 日 h		43	月 日 h
	19	月 日 h		44	月 日 h
	20	月 日 h		45	月 日 h
	21	月 日 h		46	月 日 h
	22	月 日 h		47	月 日 h
	23	月 日 h		48	月 日 h
	24	月 日 h		49	月 日 h
	25	月 日 h		50	月 日 h
授業の方法	着付け用ボディを使って留袖着付けをする				
テキスト/参考文献	技術理論の教科書				
評価の方法や基準	出席状況、授業態度などによって総合的に評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					○
実務経験	美容科、総合美容学科、TB科及び美容所、出張会場にて実務あり				
実務経験の活かし方	晴れの日のお手伝いが出来る責任のある仕事である事を伝える。				
履修上の注意事項	持参品を伝える。				

令和6年度 シラバス

授業科目	美容総合技術 ヘアセット	単位/時間	36時間		
開講学科等	美容総合学科S・Bコース 2年	担当教員	山崎 紀代		
授業の目的・テーマ	美容師として伝統的日本のスタイル日本髪など追求し、知識・テクニックを学ぶ				
授業の到達目標	顔立ちに合わせてのヘアスタイルを可能にし、美しい所作も身につける				
授業の計画	1	10月 16日	4h	アップスタイル1	26
	2	10月 23日	4h	アップスタイル2	27
	3	10月 30日	4h	アップスタイル3	28
	4	11月 6日	4h	日本髪1	29
	5	11月 13日	4h	日本髪2	30
	6	11月 20日	4h	日本髪3	31
	7	11月 27日	4h	テスト	32
	8	12月 4日	4h	ヘアアレンジ1	33
	9	12月 11日	4h	ヘアアレンジ2	34
	10				35
	11				36
	12				37
	13				38
	14				39
	15				40
	16				41
	17				42
	18				43
	19				44
	20				45
	21				46
	22				47
	23				48
	24				49
	25				50
授業の方法	実技 モデルウィッグを使って完成させる				
テキスト/参考文献					
評価の方法や基準	授業態度、実技テスト、理論テスト				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する				○	
実務経験	メイクアップアーティストとしての事務所所属・美容師としてサロンワーク、ブライダル 講師活動				
実務経験の活かし方	メイクアップアーティストの仕事を理解してもらう				
履修上の注意事項	道具を管理し衛生面に気をつけるためアルコール消毒を用意する				

令和6年度 シラバス

授業科目	総合技術ネイルアドバンス	単位/時間	190 h			
開講学科等	美容総合学科 2年生ネイルコース	担当教員	矢野 愛/久川理香			
授業の目的・テーマ	ネイリスト技能検定とジェルネイル技能検定の上位検定合格を目指したカリキュラムとサロンワークで必要となるマシーンテクニック及び最新のネイルアートを学ぶ。					
授業の到達目標	ネイリスト技能検定2級・1級の技術と理論の習得 ジェルネイル技能検定中級・上級の技術と理論の習得 サロンワークで生かせるマシーンテクニックとジェルアート					
授業の計画	1	4月 18日 4h	ボールの作り方	14	7月 17日 4h	スカルプチュア・チップ オーバーレイ (復習)
	2	4月 24日 4h	フォーム付け方・アプリケーション	15	7月 18日 4h	上級 (ジェルスカルプ) (復習)
		4月 25日 4h	中級 (グラデーション・フレンチ)		9月 3日 7h	ヘアメイクアップショー対策
	3	5月 1日 4h	1級スカルプチュア	16	9月 4日 7h	ヘアメイクアップショー対策
		5月 2日 4h	中級ジェルスカルプ		9月 10日 4h	検定対策
	4	5月 8日 4h	1級スカルプチュア	17	9月 11日 4h	検定対策
		5月 9日 4h	中級通し		9月 17日 4h	検定対策
	5	5月 15日 4h	1級チップオーバーレイ	18	9月 18日 4h	検定対策
		5月 16日 4h	中級通し		9月 25日 4h	検定対策
	6	5月 22日 4h	1級チップオーバーレイ (復習)	19	9月 26日 4h	検定対策
		5月 23日 4h	中級通し (復習)		10月 2日 4h	検定対策
	7	5月 29日 4h	中級通し	20	10月 9日 4h	3Dアート
		5月 30日 4h	スカルプチュア・チップ オーバーレイ (復習)	21	10月 16日 4h	1級通し (2級通し)
	8	6月 5日 4h	スカルプチュア・チップ オーバーレイ (復習)	22	10月 23日 4h	上級 (ジェルチップ オーバーレイ)
		6月 6日 4h	中級通し (復習)	23	10月 30日 4h	上級 (ジェルスカルプ・チップ オーバーレイ)
	9	6月 12日 4h	中級通し	24	11月 6日 4h	上級 (フレンチ・アート)
		6月 13日 4h	中級通し (復習)	25	11月 13日 4h	上級通し
	10	6月 19日 4h	スカルプチュア・チップ オーバーレイ (復習)	26	11月 20日 4h	上級通し
		6月 20日 4h	中級通し	27	11月 27日 4h	マシーン
	11	6月 26日 4h	スカルプチュア・チップ オーバーレイ (復習)	28	12月 4日 4h	フットケア
		6月 27日 4h	スカルプチュア・チップ オーバーレイ (復習)	29	12月 11日 4h	フットケア・アート
	12	7月 3日 4h	スカルプチュア・チップ オーバーレイ	30	月 日 h	
		7月 4日 4h	スカルプチュア・チップ オーバーレイ (復習)	31	月 日 h	
	13	7月 10日 4h	上級 (ジェルスカルプ)	32	月 日 h	
7月 11日 4h		上級 (ジェルスカルプ) 復習	33	月 日 h		
授業の方法	実習・講義					
テキスト/参考文献	JNAテクニカルシステムベーシック・JNAテクニカルシステムアドバンス JNAテクニカルシステムジェルネイル・ネイルキット					
評価の方法や基準	授業態度・出席率・技能試験					
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する						○
実務経験	ネイルサロン経営・JNA本部認定講師					
実務経験の活かし方	本部認定講師はネイリスト技能検定試験・ジェルネイル試験の試験官を行う事ができ、検定の重要なポイントや苦手項目に対する指導する事で合格率のアップを図る。また、サロン経営の経験を於いてジェルデザインアート力を付けさせる事が出来る					
履修上の注意事項	相モデルにての実習形式・マナー (髪の毛は結ぶ) ・爪はモデルができる長さ					

令和 6 年度 シラバス

授業科目	美容総合技術 ヘアデザイン	単位/時間	46h						
開講学科等	美容総合学科 2年スタイリストコース	担当教員	濱田 孝映						
授業の目的・テーマ	カット・ヘアカラー技術の仕上げとして自分の作品作りをする。								
授業の到達目標	自分でデザインしたスタイルを作る。								
授業の計画	1	9/3 9/4	11h	26					h
	2	9/10 9/11	11h	27					h
	3	9/17 9/18	8h	28					h
	4	9/25 9/26	8h	29					h
	5	10/2	4h	30					h
	6	10/9	4h	31					h
	7		h	32					h
	8		h	33					h
	9		h	34					h
	10		h	35					h
	11		h	36					h
	12		h	37					h
	13		h	38					h
	14		h	39					h
	15		h	40					h
	16		h	41					h
	17		h	42					h
	18		h	43					h
	19		h	44					h
	20		h	45					h
	21		h	46					h
	22		h	47					h
	23		h	48					h
	24		h	49					h
	25		h	50					h
授業の方法	作品写真やSNSなどを使用し、イメージしたものを具現化させる。								
テキスト/参考文献	過去のコンテストやショー作品等								
評価の方法や基準	授業態度・作品の仕上がりの総合評価100%								
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する									○
実務経験	美容師として勤務。日本理容美容教育センター（美容技術理論・美容実習研修済）								
実務経験の活かし方	授業中の言葉使いから指導し、接客業の基礎を学ばせながら学習させる。								
履修上の注意事項									

令和 6年度 シラバス

授業科目	美容総合技術カット		単位/時間	12
開講学科等	美容総合学科 スタイリストコース 2年		担当教員	RT
授業の目的・テーマ	グラデーションボブの切り方を通じてカット技術の向上並びに国家試験に対応できる能力をつける			
授業の到達目標	グラデーションボブの切り方の理解、規定時間内に規定のスタイルを切れる力をつける			
の	1	4月 18日 4h	グラデーションボブのブロッキング方法	20
	1		左右対称に切る方法	21
	1		ガイドラインの作り方、繋げ方	22
	2	4月 25日 4h	ブロックごとのパネルの角度	23
	2		グラデーションの付け方	24
	2		バックとサイドの繋げ方	25
	3	5月 2日 4h	トップやバンブを作る際の注意点	26
	3		クロスチェックの方法	27
	3		見た目を良くする仕上げ時の方法	28
	4	月 日 h		29
	5	月 日 h		30
	6	月 日 h		31
	7	月 日 h		32
	8	月 日 h		33
	9	月 日 h		34
	10	月 日 h		35
	11	月 日 h		36
	12	月 日 h		37
	13	月 日 h		38
14	月 日 h		39	
15	月 日 h		40	
16	月 日 h		41	
17	月 日 h		42	
18	月 日 h		43	
19	月 日 h		44	
授業の方法	講師による展示→項目ごとに生徒に実践してもらい→間に入って指導→(繰り返し)→タイムに入るようにカット			
テキスト/参考文献	グラデーションボブの切り方、規定について記載された資料または教科書			
評価の方法や基準	指導した内容に沿って着実に取り組んでいるか、規定時間内でのスタイル完成に近づけているか			
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する				○
実務経験	美容室で美容業務全般に従事			
実務経験の活かし方	普段の業務でのノウハウを交えながらの指導			
履修上の注意事項	カット用具一式、タイマー、怪我をしないように注意			

令和6年度 シラバス

授業科目	美容総合カット	単位/時間	40h			
開講学科等	美容総合学科2年スタイリストコース	担当教員	大川倫史			
授業の目的・テーマ	B1グランプリ対策、デザインの構成					
授業の到達目標	B1グランプリ受賞					
授業 の 計 画	1	5月 9日 4h	ヘアデザインの考えかた	26	月 日 h	
	2	5月 16日 4h	ヘアデザインの考えかた	27	月 日 h	
	3	5月 23日 4h	ヘアデザインの考えかた	28	月 日 h	
	4	5月 30日 4h	ヘアデザインの作り方	29	月 日 h	
	5	6月 6日 4h	ヘアデザインの作り方	30	月 日 h	
	6	6月 13日 4h	ヘアデザインの作り方	31	月 日 h	
	7	6月 20日 4h	ヘアデザインの作り方	32	月 日 h	
	8	6月 27日 4h	ヘアデザインの作り方	33	月 日 h	
	9	7月 4日 4h	ヘアデザインの作り方	34	月 日 h	
	10	7月 11日 4h	まとめ	35	月 日 h	
	11	月 日 h		36	月 日 h	
	12	月 日 h		37	月 日 h	
	13	月 日 h		38	月 日 h	
	14	月 日 h		39	月 日 h	
	15	月 日 h		40	月 日 h	
	16	月 日 h		41	月 日 h	
	17	月 日 h		42	月 日 h	
	18	月 日 h		43	月 日 h	
	19	月 日 h		44	月 日 h	
	20	月 日 h		45	月 日 h	
	21	月 日 h		46	月 日 h	
	22	月 日 h		47	月 日 h	
	23	月 日 h		48	月 日 h	
	24	月 日 h		49	月 日 h	
	25	月 日 h		50	月 日 h	
授業の方法	ヘアデザインの考え方、実技					
テキスト/参考文献	なし					
評価の方法や基準	授業態度					
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					○	
実務経験	美容師					
実務経験の活かし方	デザイン、カット					
履修上の注意事項						

令和 6年度 シラバス

授業科目	美容総合技術カット	単位/時間	36時間		
開講学科等	美容総合学2年生スタイリストコース	担当教員	岡 宏美		
授業の目的・テーマ	ウィッグによるデザイン技術・理論				
授業の到達目標	作品作りを基としたデザインのクオリティアップ				
授業 の 計 画	1	5月 15日 4h	スタイルワーク (ブリーチオンカラー)	26	月 日 h
	2	5月 29日 4h	スタイルワーク (ブリーチオンカラー)	27	月 日 h
	3	6月 12日 4h	スタイルワーク (ブリーチオンカラー)	28	月 日 h
	4	6月 19日 4h	スタイルワーク (ブリーチオンカラー)	29	月 日 h
	5	6月 26日 4h	スタイルワーク (メイク)	30	月 日 h
	6	7月 3日 4h	スタイルワーク (カット)	31	月 日 h
	7	7月 10日 4h	スタイルワーク (カット)	32	月 日 h
	8	7月 17日 4h	撮影	33	月 日 h
	9	7月 18日 4h	撮影	34	月 日 h
	10	月 日 h		35	月 日 h
	11	月 日 h		36	月 日 h
	12	月 日 h		37	月 日 h
	13	月 日 h		38	月 日 h
	14	月 日 h		39	月 日 h
	15	月 日 h		40	月 日 h
	16	月 日 h		41	月 日 h
	17	月 日 h		42	月 日 h
	18	月 日 h		43	月 日 h
	19	月 日 h		44	月 日 h
	20	月 日 h		45	月 日 h
	21	月 日 h		46	月 日 h
	22	月 日 h		47	月 日 h
	23	月 日 h		48	月 日 h
	24	月 日 h		49	月 日 h
	25	月 日 h		50	月 日 h
授業の方法					
テキスト/参考文献	インスタグラム				
評価の方法や基準	授業態度・仕上がり				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					○
実務経験	現役トップスタイリストとして株式会社トーリに勤務。 現在はクリエイティブディレクターとして、社内教育に携わる				
実務経験の活かし方	生徒の年代に合わせた顧客ニーズをつかむスタイルづくり				
履修上の注意事項	持参物・カット道具一式、カールアイロン、ストレートアイロン ドライヤー、スマートフォン、メイク道具				

令和 6年度 シラバス

授業科目	美容総合技術 ヘアカラー	単位/時間	20h				
開講学科等	美容総合学科2年スタイリストコース	担当教員	前田 誠一				
授業の目的・テーマ	サロンワークに活かせるヘアカラー基礎技術						
授業の到達目標	ヘアカラー応用テクニックの習得						
授業 の 計 画	1	4月24日 4h	ホイールワークテクニック(トレクリ)	26	月	日	h
	2	5月1日 4h	塩基性・酸性カラー塗布	27	月	日	h
	3	5月8日 4h	グレイカラー塗布(トレクリ)	28	月	日	h
	4	5月22日 4h	グレイカラー塗布(ブリチ→グレイ)	29	月	日	h
	5	6月5日 4h	ポイントデザイン(相モデル)	30	月	日	h
	6	月 日 h		31	月	日	h
	7	月 日 h		32	月	日	h
	8	月 日 h		33	月	日	h
	9	月 日 h		34	月	日	h
	10	月 日 h		35	月	日	h
	11	月 日 h		36	月	日	h
	12	月 日 h		37	月	日	h
	13	月 日 h		38	月	日	h
	14	月 日 h		39	月	日	h
	15	月 日 h		40	月	日	h
	16	月 日 h		41	月	日	h
	17	月 日 h		42	月	日	h
	18	月 日 h		43	月	日	h
	19	月 日 h		44	月	日	h
	20	月 日 h		45	月	日	h
	21	月 日 h		46	月	日	h
	22	月 日 h		47	月	日	h
	23	月 日 h		48	月	日	h
	24	月 日 h		49	月	日	h
	25	月 日 h		50	月	日	h
授業の方法	実技・実習						
テキスト/参考文献							
評価の方法や基準	授業態度・理解力・意欲・自発力						
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する							○
実務経験	ヘアカラーリストとして、ヘアカラー専門店 起業						
実務経験の活かし方	一人ひとりと丁寧に向き合い、必要な知識・技術・心得を解りやすく伝え、自発性が高まる教育。						
履修上の注意事項							